

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 大台町	対談項目1 中山間地域での農業振興(特に6次産業化の取組)に対する支援について		<p>大台町の水「森の番人」を東京、大阪、名古屋の顧客に販売している会社から水と一緒に大台町で作った野菜も販売したいとの話があった。</p> <p>大台町の農業は大きな転換点に来ていると思っており、高齢化、担い手の不足、耕作放棄などの課題を抱えているが、すでに販路が確立している強みがあるので、生産体制の整備、多様な作物の生産、技術の向上、人材育成、集荷及び配送体制など、全町的に取り組んでいきたい。また、これを契機にいろいろな事業ができると耕作放棄地対策、移住者受入促進、6次産業化の促進、高齢者の生きがい健康づくりのものもつながっていくと考えている。施設整備もさることながら、技術向上に向けた普及指導の充実、担い手の育成について県の積極的な支援をいただきたい。</p>	<p>大きな工場等の誘致が難しい中、都会での販路が決まっているところとの取引ができれば、安定的な雇用や産業に繋がっていくので、県としても全面的にサポートしていきたい。</p> <p>配送システムについても、まとめて配送、鮮度を保った配送など、研究、実験をしており、具体的な案件が決まってきたら、配送システムのサポートをさせていただきたい。</p> <p>加工施設、出荷施設などのハードの整備については、国の制度等もあるので、一緒に国へも相談していく。</p> <p>担い手の育成については、品目、手順等が固まってきたら、普及センターできめ細かく技術指導させていただく。</p>
2 大台町	対談項目2 2021みえ国体準備の支援について		<p>平成33年の三重国体が開催されるにあたり、奥伊勢漕艇場は、日本ボート協会よりB級コースの認定を受けているが、背走レーンの拡幅、駐車場、艇の出入口の分割、写真判定装置、観覧席等の整備が必要であり、計画的に整備を行っていくが、経費もかなりの額になる。先日、県で国体施設整備費補助金を創設していただいたが、大会の運営についても、先催県にあるような補助制度を確保し支援をお願いしたい。</p>	<p>2021年(平成33年)の三重国体については、各市町と協力し、あと7年間準備をしっかりと進めていきたい。大会運営のソフト経費の支援についても、先催県を参考に中身についてこれからしっかりと詰めていき、前向きに検討したいと思っている。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 大台町	対談項目3 発電施設売却益を地域振興基金に	譲渡後も県が責任を持って対処すべき	<p>中部電力に発電施設を来年度に売却することになるが、その売却益を大台町を含めた宮川流域の地域振興に充てるための基金として設置していただきたいと昨年もお願いさせていただいた。今年1月にも知事に要望させていただいたところ、債権債務を清算していく中で残務処理を行い、地域貢献の取組が継続されていくことを条件にしながら、そのための費用を今後検討するとの回答をいただいた。現時点で、基金を設けるのか、設けないのか、明確な答えをいただきたい。</p> <p>また、地域貢献の費用を一般財源化することだけは避けてほしい。</p>	<p>水力発電事業の中部電力への譲渡が来年4月1日に完了するが、譲渡に当たっては、灌漑放流、流量回復等について、中部電力と確認書を交わしており、譲渡前と同じように行ってもらう部分は、しっかり行ってもらい、県としても確認書どおり行われているか関与していきたい。また、財源の関係で売却のあと残ったお金を基金としてしっかり使ってほしいとの要望をいただき、前の答弁より突っ込んだ話をとのことでしたが、売却完了の残務処理、債権、債務の清算について見込みはしているものの実際に額が確定していない中、資金の形態ありきでなく、額を見極めてから、地域貢献などに必要な費用についてはしっかり検討させていただきたいと思っており、債権債務の清算の状況を踏まえたうえで考えていきたいと思っている。</p>
4 大台町	対談項目3 発電施設売却益を地域振興基金に	売却財産を基金に	<p>大台町では全戸に防災行政無線の個別受信機を配布しており、始神高にその基地局がある。平成23年に基地局の手前の道で地滑りがあり、現在通行できない状況で、消防無線のデジタル化工事でも別の道を使っている。松阪農林事務所と相談をして、ルートについてはなんとかかなりそうだが、作業道ということもあり費用の捻出ができない。地滑りの規模も大きく、整備費用も多額となることから、県としても指導、支援をいただきたい。</p>	<p>当該基地局は、防災行政無線と紀勢地区広域消防組合の中継局のある重要な場所であると思っている。管理用道路の設置、電線の埋設工事については、内容により起債充当できる可能性があるため、市町行財政課に指示をしておくので、財源の手当ての方法について相談していただくとありがたいと思っている。</p>
5 大台町	対談項目4 防災行政無線始神高中継局への電線埋設路兼管理用道路の復旧について		<p>大台町では全戸に防災行政無線の個別受信機を配布しており、始神高にその基地局がある。平成23年に基地局の手前の道で地滑りがあり、現在通行できない状況で、消防無線のデジタル化工事でも別の道を使っている。松阪農林事務所と相談をして、ルートについてはなんとかかなりそうだが、作業道ということもあり費用の捻出ができない。地滑りの規模も大きく、整備費用も多額となることから、県としても指導、支援をいただきたい。</p>	<p>当該基地局は、防災行政無線と紀勢地区広域消防組合の中継局のある重要な場所であると思っている。管理用道路の設置、電線の埋設工事については、内容により起債充当できる可能性があるため、市町行財政課に指示をしておくので、財源の手当ての方法について相談していただくとありがたいと思っている。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
6 大台町	対談項目5 清流宮川の水質確保と堆積土砂の除去について	水質の確保	<p>現在、宮川ダムでは、選択取水施設による維持放流で流量が確保されているが、ダム下流の最もきれいな源流域において、灌漑放流時に放流水が黒く濁ったり、悪臭、魚類のへい死が見られた。水質調査では異常がなかったが、ダムの水位がかなり低いことがあり、発電、水不足による湧水などにより水位が下がり、選択取水施設の機能が十分発揮されないことが原因ではないかと思っている。</p> <p>宮川を二度と悲惨な状況にしないため、抜本的な対策を講じていただく中で、その施策を示していただきたい。また、それができない場合は、奥の大和谷川から水を引っ張り、直接ダムの直下に放流をし、水質を確保するのが最善の策と考えるがどうか。</p>	<p>水質の確保について、平成23年5月に魚のへい死があり、貧酸素と硫化物の発生が原因と疑われたことから、平成24年度から魚類生息調査に加え、ダム湖の水深別の水質調査、湖底の底質調査等を追加して実施したが、へい死につながる異常は確認できなかった。今年はダム湖、ダム下流の調査内容を見直して水質調査を継続し、生物のへい死等の異常があったときは関係部局が連携して、原因調査等を含め速やかに対応できる体制をとっている。今年9月までの調査では、環境基準を満たしており、へい死等も確認されていない。</p>
7 大台町	対談項目5 清流宮川の水質確保と堆積土砂の除去について	水位の確保	<p>水不足の中で需給関係が崩壊状態になっている。灌漑放流が必要なときは発電事業を抑制し、選択取水が有効に機能をする水位の確保が必要と考えるので、中部電力への譲渡にあたり、そういった条件の提示をお願いしたい。</p>	<p>水位の確保について、ダム水位の運用は、宮川第1、第2発電所の譲渡により、本年度から中部電力が実施することになっているが、中部電力との協議において、適切な運用水位になるよう努力してもらうよう説明し、理解しているものと考えている。譲渡後もこれまでと同様の運用になると考えており、我々も中部電力の運用をきちんと見守ることとしていきたいと思っている。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
8 大台町	対談項目5 清流宮川の水質確保と堆積土砂の除去について	堆積土砂の撤去	堆積土砂については毎年対処いただき感謝しているが、宮川ダムの上流に半端でない量が堆積しており、また、支流にも多くの土砂が堆積している。上流域では川に近い場所に住宅があり、水が出るとすぐに川が迫ってきて危機感を持っている。堆積土砂の除去については今後も鋭意継続しながら対処していただきたい。土捨場はしっかりやるのでよろしくお願いいたします。	堆積土砂の撤去ということであるが、平成16年の台風21号、平成23年の台風12号で宮川本線や支線の桧原谷川に大量の土砂が堆積したということで、平成25年度までに約29万立方メートルの撤去をし、概ね平成23年の被災前の状態まで撤去させていただいたと思っている。まだ残っている部分もあるかもしれないが、平成26年度は常に堆積傾向にある桧原橋周辺で約6千立方メートル、半次郎橋から岩井橋の間で約3千立方メートルの土砂をそれぞれ撤去させていただく予定にしている。堆積土砂の撤去については、県内でも要望が高いので、箇所選定の仕組みを関係市町と一緒に優先度を検討し、情報を共有し、住民の皆さんにも説明していただけるよう構築してきているところなので、大台町においても、それを活用していただき町民の皆さんの安心感を作っていけるようにしていければと思っている。また、残土処分地の確保にご骨折りにいただいていることに感謝申し上げる。
9 大台町	対談項目6 水力発電事業の民間譲渡に関する要望と宮川ダム湖の第3乗船場利活用の為の水質確保について	要望事項の未解決項目についての回答	中部電力への事業譲渡に関して、要望のほとんどの項目でいい返事をもらっているが、残っている件について早急に解決され、確定した回答を示していただきたい。	未解決の案件について、道路整備など長期的な対応が必要な項目もあるので、引き続き誠意をもって取り組んでいきたいと思っている。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
10 大台町	対談項目6 水力発電事業の民間譲渡に関する要望と宮川ダム湖の第3乗船場利活用の為の水位確保について	第3乗船場が常時利用できる水位の確保	宮川ダム湖で観光船の運航を開始したが、第3乗船場付近で発電による減水と土砂の流入により水位が低いと船が乗船場まで行けないため、登山客の送迎ができず営業を中止している期間が発生している。常時第3乗船場が利用できるよう水位を確保するため、土砂の除去、水位をあげる等の検討をいただきたい。	<p>中部電力との関係では企業庁が行っていた運用を譲渡後も引き継ぐことで合意をしているため、観光船に配慮した運用は企業庁がこれまで行っていたわけではないことから、譲渡の条件になっていない。しかしながら、地域活性化のため、観光振興も重要と認識してもらっているので、そのような要望があることを伝える中で、中部電力がそれに配慮した運用をしていくかを検討していくことになる。</p> <p>観光船が定期運航していた際は、宮川ダムの水位に合わせ乗船場を変更するなどの柔軟な対応も逆にいただいていたのかとも思うので、譲れない時期や柔軟にできる時期等もあると思うが、一方だけが何かをするのでなく、歩みよる努力でお互いにいい形で譲り合えればと思っている。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
11 大台町	対談項目7 土砂災害特別警戒区域に対する安全対策の充実について		<p>大台町は、平成25年11月、町全域において、土砂災害防止法による急傾斜地の崩壊、土石流にかかる土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定が完了しました。町内には山間部の集落が多いため、建築物の構造規制、立地規制、警戒避難体制の整備などのソフト面の対策のみでは、町民の安全安心を確保することは極めて困難である。</p> <p>国、県にあっては、土砂災害防止法による区域の指定に積極的に取り組んだ市町に、特別警戒区域に対する砂防工事、急傾斜地崩壊防止工事を優先して実施するほか、特に、学校、社会福祉施設、避難場所指定箇所等においては、急傾斜地崩壊対策にかかる補助事業採択要件の緩和や新たな施策の充実を図ってほしい。また、土砂災害特別警戒区域内の人家の新增改築、移転に対する補助金制度の拡充等の施策についても充実を図っていただきたい。</p>	<p>土砂災害特別警戒区域指定の基礎調査が完了すれば、調査結果の公表、啓発ができることから、基礎調査を平成31年度までに完了するよう来年度より取り組んでいこうと思っている。</p> <p>砂防の施設整備の実施にあたっては、危険性、緊急性、地元の合意形成、警戒区域の指定状況等を勘案して総合的に事業の進捗を図るようにしているので、指定が進んでいるのは判断の中では重要なポイントであると思っているので勘案しながら事業の進捗を図っていく。</p> <p>また、急傾斜地崩壊対策事業の補助事業の採択基準である保全人家戸数基準について、県としても、都道府県全体としても補助基準の緩和、地方負担の軽減について国へ要望しているところであり、まだ実現には至っていないが、引き続きしっかり要望していく。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
12 大台町	対談項目8 道路改良整備について		<p>道路の整備については、相鹿瀬大台線柳原橋について順次進めていただいているし、R422の八知山トンネルも先般入札が行われ着工の見通し、大台ヶ原線の池の上についても調査費が計上され着手されているが、依然として生活道路として整備していかなければならないところが多々ある。特別対策要綱の道路整備計画に多くの路線が盛り込まれているが、なかなか進んでいないところであり、R422は領内から奥には対岸道路がないため、平成16年の災害では大杉谷地域が孤立した。また、池の上もこれから順次工事となっていくことと思うが早期整備をお願いしたい。県も財政事情が厳しいと思うが、生活道路の確保をお願いしたい。</p>	<p>特別対策要綱の中で残っている重要項目が道路であるので大台町と相談させていただきながら、優先順位をつけてできる限りの道路整備の推進をしていきたいと思っている。</p> <p>池の上については、来年度以降に用地測量、用地買収を進めていきたいと思っているので、地元調整など協力をお願いする。</p> <p>生活道路の抜本改良が難しいところは退避所整備等の柔軟対応をさせていただいているところもあるので、大台町と相談しながらできる限りの道路整備の推進をしていきたいと思っている。</p>